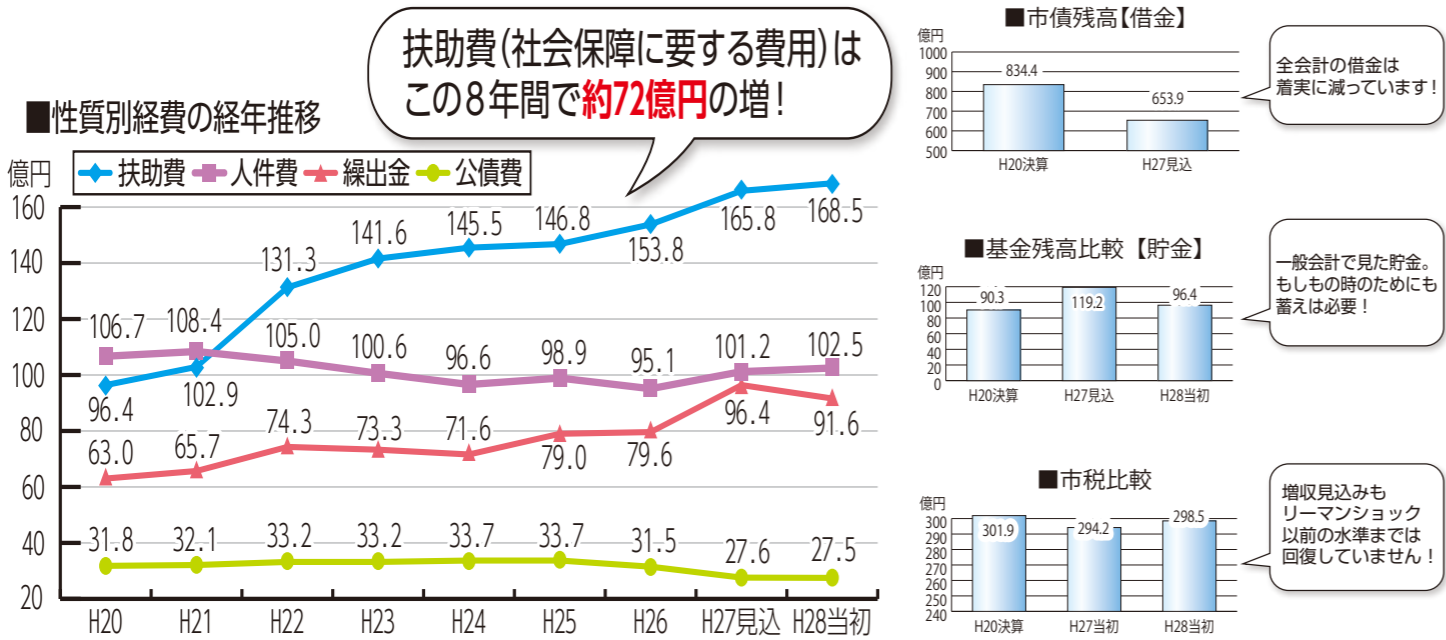


日野市の財政状況～現状とこれから

市税収入は増えていますが、扶助費の伸びが右肩上がり増加しており、今後も引き続き慎重な財政運営の必要があります



市民1人当たりに換算すると... 1人当たり税負担 16万3,145円 (1,456円増) ※()内は前年度比増減
1人当たり歳出額 33万6,207円 (8,289円増)

民生費 高齢者や障害者などに対する社会福祉、児童福祉や生活保護のための費用 15万9,854円 (2,653円増)	衛生費 ごみ処理、保健衛生、予防接種、環境衛生などの費用 3万1,758円 (1,635円増)	土木費 道路の新設・維持管理や公園整備、市営住宅の維持管理などの費用 3万3,506円 (2,689円増)	消防費 消防活動、災害対策などの費用 1万3,494円 (▲204円減)	貯金(基金残高) 6万5,150円 (71円増) 借金(市債残高) 16万8,802円 (959円増) <small>※歳出額は一般会計のもの ※市民一人当たりの金額は平成28年4月1日現在の人口182,953人(外国人を含む)で算出</small>
教育費 小・中学校教育、社会教育、市民会館、公民館活動、スポーツ活動などの費用 4万3,320円 (▲500円減)	総務費 庁舎管理、徴税、統計、選挙事務や戸籍、住民登録などに必要な費用 3万1,232円 (765円増)	公債費 市債(市の借り入れたお金)の返済のための費用 1万5,023円 (▲208円減)	その他 市議会運営、労働、農業、商工振興などのための費用 8,018円 (1,458円増)	

平成27年度下半期財政状況

(平成28年3月31日現在)

■市有財産 土地 171万㎡ 建物 34万㎡		■市債の状況 (単位: 億円) 会計名 26年度末残高 27年度借入金 27年度元金償還額 27年度末残高 一般会計 305.4 27.4 24.0 308.8 下水道事業特別会計 254.2 9.0 21.5 241.7 市立病院事業会計 77.8 0.6 5.1 73.3 土地区画整理事業特別会計 33.1 0.0 3.0 30.1 合計 670.5 37.0 53.6 653.9			
■基金 パリアフリー事業推進基金 9,168万円 土地区画整理事業基金 28億9,996万円 介護給付準備基金 7億3,089万円 市民体育施設整備基金 5億9,514万円 学校施設整備基金 6億9,161万円 減債基金 3億7,200万円 新選組関連資料収集基金 1,693万円 ごみ処理施設整備基金 22億6,055万円 福祉あんしん基金 5,628万円 合計 155億5,022万円		■平成27年度下半期各会計別予算執行状況 (単位: 億円) 会計名 予算現額 収入済額 支出済額 一般会計 643.5 608.8 570.3 国民健康保険 208.4 192.8 185.0 土地区画整理事業 49.6 30.4 13.5 下水道事業 54.2 44.0 45.4 介護保険 119.0 106.3 108.4 後期高齢者医療 38.1 36.8 37.5 市立病院事業(収入) 91.7 74.6 市立病院事業(支出) 101.3 82.0			

※金額は各欄ごとに1万円未満を四捨五入しているため、合計が合わない場合があります

平成28年度の主な取り組み

I 参画と協働のまち 10億9,098万円 ●第5次日野市基本構想・基本計画(2020プラン)のさらなる推進 ●日野市の魅力を発信「シティセールス推進課」の設置 ●地域資源・観光資源を生かしたふるさと納税の展開 ●地域懇談会の開催(地域住民によるアクションプランの実施など) ●学校施設の長寿命化を目指した施設整備計画の策定 ●第5次日野市行財政改革大綱の策定 など	IV 日野人・日野文化を育てるまち 7,515万円 ●2020東京オリンピック・パラリンピック開催を契機とした「する」「みる」「支える」スポーツの事業の展開 ●旧日野桑園第1蚕室(愛称「桑ハウス」)の保存と活用への取り組み ●市民の森ふれあいホールとの「スポーツの南北2大拠点化」に向けた南平体育館整備 ●中央公民館50周年記念事業の実施 など
II 子どもが輝くまち 14億9,018万円 ●放課後子ども教室スーパーひののち「なつひの」の拡大(6校実施へ) ●保育園の待機児童解消に向けたさらなる取り組み ●スクールソーシャルワーカー配置事業の拡充(2人体制へ) ●学童クラブ育成時間延長モデルの検討 ●小・中学校における特別支援教育の推進 ●2020東京大会を契機としたオリンピック・パラリンピック教育の全市立幼・小・中学校での推進 ●虐待対策コーディネーターを中心とした児童虐待防止への組織的取り組み など	V 自然と調和した環境に優しいまち 9億3,182万円 ●環境情報センターと地区センターを複合化した(仮称)東豊田複合施設の建設 ●「水都 ひの」を象徴する用水路を活用したマイクロ水力発電の導入検討 ●プラスチック類資源化施設(マテリアルリサイクル推進施設)の基本計画・基本設計の策定 など
III 健やかでともに支えあうまち 18億8,197万円 ●子どもの貧困対策に係る基本方針の策定と生活困窮家庭の子どもに対する居場所づくり・学習支援の充実 ●多摩平の森地区A街区の公共公益施設整備構想の推進 ●国保データヘルス計画に基づく保健事業の推進 ●障害者差別解消基本方針に基づく普及・啓発、庁内コミュニケーション支援(本庁舎の手話通訳者配置など) ●子宮がん、乳がん、大腸がんクーポン券の発送などによる「がん検診」受診率向上 など	VI 安全で安心して暮らせるまち 2億9,335万円 ●いつ来るかわからない災害への備え(公的備蓄の充実や地域防災会の設立を促進など) ●消防団を中核とした地域防災力の強化(消防団活動体制の充実) ●木造住宅耐震診断補助金の交付 など
VII 地域の魅力を活かした活力あるまち 48億5,407万円 ●PlanT(多摩平の森産業連携センター)事業の充実 ●空き家対策計画策定と空き家条例制定 ●TOYODA BEERブランド化事業の充実 ●多言語表記の推進や外国人対応ガイドボランティアの育成 ●LED街路灯の導入に向けた取り組み ●ミニバス(4路線)の増便による運行時間帯の延長および回送経路の営業路線化による交通網の充実 など	

日野市における地方消費税交付金(消費税率引き上げ分)の使い道

平成28年度の地方消費税交付金の消費税率引き上げに伴う増分は、18億200万円になる見込みで、下記の通り全て社会保障施策に充てられます。

社会保障施策の区分		事業経費	財源内訳			
国による分類	日野市の予算による分類		特定財源		一般財源	
			国都支出金	負担金など	地方消費税交付金(社会保障財源化分)	その他
社会福祉※1	社会福祉総務費、発達支援費、障害福祉費、老人福祉費※4、老人福祉施設費、児童運営費、ひとり親福祉費、保育園費、児童館費、放課後子ども育成費、生活保護経費	201億9,091万円	123億9,722万円	9億8,151万円	8億5,838万円	59億5,380万円
社会保険※2	国民健康保険事業費、介護保険特別会計および後期高齢者医療特別会計繰出金	60億1,450万円	6億9,153万円	0	6億7,073万円	46億5,224万円
保健衛生※3	保健衛生総務費、予防費、健康管理費、病院費	25億352万円	2億4,033万円	9,753万円	2億7,289万円	18億9,277万円
平成28年度当初予算額615億1,000万円のうち		287億893万円	133億2,908万円	10億7,904万円	18億200万円	124億9,881万円

(注) 金額は各欄ごとに1万円未満を四捨五入しているため、合計が合わない場合があります
 ※1 生活保護、児童福祉、母子福祉、高齢者福祉、障害福祉など
 ※2 国民健康保険、介護保険、年金など
 ※3 医療に係る施策、感染症その他の疾病の予防対策、健康増進対策など
 ※4 社会保険に係る介護保険特別会計および後期高齢者医療特別会計への繰出金を除く